

令和4年度第2回あわら市郷土歴史資料館運営協議会会議録

日 時：令和4年10月7日（金）
午後1時30分から
場 所：金津本陣 IKOSSA 3階
市民文化研修センター研修室1

（日程）

1. 文化学習課長 あいさつ
2. 議題
（1）令和5年度の事業計画について
3. 報告
（1）令和4年度郷土歴史資料館事業の経過について
4. その他

（出席委員）

水野 和雄 吉田 純一 長野 栄俊
宇都宮 高栄 能美 進 寺井 玲子

（欠席委員）

荒木 秀子

（事務局）

文化学習課長 早見 孝枝 郷土歴史資料館館長 平井 俊宏
郷土歴史資料館副館長 九千房 英之 郷土歴史資料館 角 衣利奈

【文化学習課長 あいさつ】

【議題1】令和5年度の事業計画について

（事務局説明）

委員長：何か質問や意見はありますか。

委員長：狛犬の企画展は結構だが、新幹線開業ということで駅舎の名前にもなっている芦原温泉のことや真宗布教の拠点となった吉崎をテーマにした展示を企画したらどうか。

事務局：吉崎展は開業してすぐの2024年9月から11月に向けて企画している。平成30年に芦原温泉展を開催したので、常設展の芦原温泉コーナーの強化を検討したい。

委員：新しくできる芦原温泉駅に市や資料館の掲示物などを貼るスペースはないのか。

委員長：福井駅の柱四面は県が確保しており、永平寺や朝倉氏一乗谷遺跡などの写真を掲載している。

事務局：二階のにぎわい施設のところで、ふるさと関係を展示するスペースがあり資料館の資料を一部出す予定だ。掲示できる場所は設けられると思う。

委員：学芸員が日頃の調査や研究を発揮できるので「学芸員イチオシ館蔵品」展はいい企画だと思う。製鉄遺跡の報告書の進捗状況を教えてほしい。

事務局：細呂木小学校とセントラルゴルフ笹岡の製鉄遺跡発掘調査の報告書は来年度発刊予定である。

委員長：金津といえば、たたらなので製鉄遺跡の見学や体験など普及につなげてほしい。

事務局：報告書を発刊した後に遺物などを展示できるように考えたい。

委員：「学芸員イチオシの館蔵品」展は以前エントランスで行っていたパネル展か。

事務局：実物を展示して行う展示になる。

委員：エントランスで行っていたパネル展は今後も続けてほしい。イベント終了後も保管しておき、ある程度溜まったら、まとめて展示したらいいと思う。

委員：福井市郷土歴史博物館で開催されたイチオシ展は学芸員の顔とコメントが付されており、専門も提示していた。何が専門で何を調査研究しているのか知らない人が多いので、仕事に対して理解が得やすい。ホームページに一人一年コラムや史料紹介したらどうか。

委員：キャプションに担当した学芸員の名前を入れてもいい。

委員長：展示資料紹介などのコラムを書いてストックしておき、年報や紀要などに載せてはどうか。

事務局：毎年一人掲載するのか、全員掲載するか検討していきたい。

委員長：文化財保存活用地域計画はこれから作成するのか。

委員：保存計画は2～3年の事業なので、これを通じて得た成果を展示できるのではないか。

事務局：文化財保存活用地域計画はこれから策定していく。今後調査したことを集めて展示に繋げていきたい。

委員：珧状耳飾の事業はレプリカ作るだけでなく、お土産を作るなどアピール材料はないか。

事務局：クラウドファンディングで資金を集め、合わせてお土産品の開発を検討している。

委員長：体験講座の珧状耳飾づくりだが、昔の製法でやるのは難しいのではないか。

事務局：簡単な方法で検討し予算要求する。

委員：レプリカ作成事業はレプリカのみを作るだけなのか。身に着けている状態でないと伝わらないので、マネキンなどは作れないのか。

事務局：レプリカを作成するだけである。耳飾をつけた縄文人の絵をレプリカと合わせて展示する予定だ。マネキンなどの作成を国庫補助で申請するのは難しい。作成したレプリカを常設展示や出張講座などで活用することはできる。

【報告1】令和4年度郷土歴史資料館事業の経過について

(事務局説明)

委員長：何か質問や意見はありますか。

委員：体験で作った参加者の縄文土器を郷土歴史資料館で展示したらどうか。

事務局：夏休みの宿題として学校へ提出している。

委員：展示することで普及につながる。体験しなかった人も興味をもつような方法を検討してほしい。

事務局：体験を一週間早めに催し、展示する方法もあるので、検討したい。

委員長：来年も縄文土器づくりを開催するのか。

事務局：来年は珧状耳飾を体験する予定だ。宿題を提出する前に展示できたらと思う。

委員長：年間の行事予定を配らないと宣伝にならない。また資料館がどんな事業しているのか分からない。

事務局：ホームページでは公開はしているが、紙ベースでの配布は検討したい。

委員：第2回ふるさと講座「あわらと行幸」の内容について教えてほしい。

事務局：明治天皇、昭和天皇があわら市内を巡幸されたときの話しになると思う。

委員：本陣飾り物を五基から三基にして展示スペースを広げたらどうか。

事務局：本陣飾り物は観光客などに好評を得ている。しかし、本陣飾り物があることで、企画展等の開催時に奥の展示室との間が遮られてしまうため、移動を検討したい。

委員：企画展で使った資料データや講演録などを報告書にして出版するための予算はとれないのか。

事務局：出版費は厳しい。前回、長野委員よりホームページに掲載する方法を提案いただいたので検討していきたい。他館より借用した資料の展示期間が終了となった場合、借用した資料をインターネットに引き続き公開する際は別途相談が必要である。

委員：講演会のネット公開・録画は音声・画質が悪いと聞いているが改善予定はあるか。

事務局：今回、音は聞きやすいように改善した。少しずつ改善していきたい。

委員長：講演会の内容を年報にまとめ掲載できるといい。

事務局：参加人数と簡単な記録のみの掲載だったため補いたい。令和2年度までの年報はほぼ完成しているので、ホームページの公開と資料館で閲覧できるように目指していきたい。

委員長：それでは、その他について何か質問や意見はありますか。

委員：講演会の人数制限は続けるのか。

事務局：新年度以降はコロナの感染状況を見ながら、上層部と相談し緩和していきたい。

委員長：他にございませんか。ないようなので、これにて議事を終了します。